

「ふくしま女性活躍推進計画」の進捗状況

令和5年8月

雇用労政課

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

1 女性の職業生活を支える社会づくりの推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
(1) 女性活躍の推進に向けた意識改革、気運の醸成			
	<p>○ふくしま女性活躍応援ポータルサイト「キラっ人(と)☆ふくしま」賛同した企業、団体等を同サイトに掲載し、具体的事例等の情報を発信することで、女性活躍に向けた取組の更なる推進を図った。</p> <p>□応援宣言賛同企業・団体：357（R5.3月末現在）</p>	<p>○今後も引き続き情報を発信していく。</p>	<p>生活環境部 (男女共生課)</p>
	<p>○福島県次世代育成支援企業認証、イクボス宣言企業「福島県次世代育成支援企業」、「イクボス宣言企業」をワーク・ライフ・バランス推進のポータルサイトに掲載した。</p> <p>□次世代育成支援認証企業（累計） 947事業所（新規80件） イクボス宣言企業（累計） 570社（新規49件）</p>	<p>○ポータルサイトを速やかに更新するとともに内容を拡充して、次世代認証、イクボス宣言企業をPRする。</p>	<p>商工労働部 (雇用労政課)</p>
	<p>○家族間によりよいパートナーシップを創りだし、農村における仕事と生活のバランスに配慮した働き方を推進。</p> <p>経営方針や家族間の役割分担を明文化し、女性農業者の経営参画を促進するもの。締結後の定期的な状況確認や現状に即した締結内容の見直し等のフォローアップを進めた。家族経営協定締結事例に4市町を掲載した。</p> <p>□H29：1,096戸、H30：1,123戸、R元：1,124、R2：1,155戸、R3：1,090戸 R4：調査中(R5.12月確定予定)</p>	<p>○昨年に引き続き締結の促進と締結後の定期的な状況確認や現状に即した締結内容の見直し等のフォローアップを進める。</p>	<p>農林水産部 (農業担い手課)</p>
	<p>○労働局と合同で実施している魅力ある職場づくりの推進のための企業訪問のほか、県単独でも女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進のため企業訪問を実施。</p> <p>□R4 県単独訪問 9件（このほか労働局と合同訪問6件）</p>	<p>○労働局と合同で実施する魅力ある職場づくりの推進のための企業訪問のほか、県単独でも4～5件/月で企業訪問を実施する。</p>	<p>商工労働部 (雇用労政課)</p>
	<p>○ライフデザインセミナーの開催 県内の大学、短期大学等に講師を派遣し、学識経験者による講義や、グループワーク等を通じて、出産・育児などのライフイベントと仕事との両立について学び、自分らしい「働き方、生き方」について賢い選択ができる能力を培うためのセミナーを開催した。</p> <p>□開催校 5校（参加者 159名）</p> <p>○キラっ人さん活躍促進事業 企業や団体等の要望に応じたキラっ人さん（ロールモデル）を講師として派遣し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組を促進した。</p> <p>□派遣回数 5回（参加者 156名）</p>	<p>○ライフデザインセミナーの開催 今後も引き続きセミナーを開催する。</p> <p>○キラっ人さん活躍促進事業 企業や団体等の要望に応じたキラっ人さん（ロールモデル）を講師として派遣し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組を促進する。</p>	<p>生活環境部 (男女共生課)</p>

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

1 女性の職業生活を支える社会づくりの推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
	○「働く女性のハンドブック」(更新中)	○内容を適宜更新し、HPに公開する。	商工労働部 (雇用労政課)
	○福島労働局及び福島県幹部による企業訪問 福島県雇用対策協定に基づく取組の一環として、福島労働局及び福島県の幹部が企業を訪問し、「女性の職業生活における活躍の推進」や働き方改革に関する取組状況を確認の上、更なる取組について要請を行った。 □ R4 訪問企業数 18社	○年度当初に「福島県雇用対策協定協議会」において福島県と打合せを行っており、令和5年度も昨年度同様18社の企業を訪問する計画を立て、確実な履行に向け準備を進めている。	福島労働局
(2) 関係団体と連携した女性活躍の全県的な推進			
	○ふくしま女性活躍応援会議 組織のトップや企業の人事労務担当者等を対象に女性活躍推進や働き方改革などをテーマとしたシンポジウムを開催した。 □ 応援会議 1回開催 幹事会 1回リモート開催 シンポジウム参加者 240名	○ふくしま女性活躍応援会議 今後も引き続きシンポジウムを開催する。	生活環境部 (男女共生課)
	○福島県魅力ある職場づくり推進協議会 「令和4年度福島県魅力ある職場づくり推進協議会」を12月7日に開催し、協議会において掲げる3つの目標「働き方改革(長時間労働の是正)」、「非正規雇用者の正社員転換」、「女性の活躍推進」(それぞれ5か年計画)について、各団体における取組状況・進捗状況を共有し、引き続き傘下企業等への周知・啓発を継続することとした。	○今年度も、計画の3年目となる「福島県魅力ある職場づくり推進協議会」を開催し、構成団体が連携して情報発信、周知広報・啓発を徹底することにより、数値目標達成を目指し、県内の魅力ある職場づくりの推進を図る。	福島労働局
(3) 男性の家庭生活への参画促進			
	○イクボス出前講座 イクボスの普及啓発を行い、ワーク・ライフ・バランスを自ら実践し「働きやすい職場づくり」を推進する経営者(イクボス)の増加を図った。 □ R4 10社	○イクボス出前講座 イクボス出前講座と併せて企業訪問等あらゆる機会を通じてイクボスの理念の普及啓発を図る。	商工労働部 (雇用労政課)
	○イクボス養成講座 職場でともに働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司「イクボス」を養成した。 □ 参加者 57名	○イクボス養成講座 今後も引き続き講座を実施する。	生活環境部 (男女共生課)
	○福島県次世代育成支援企業認証、イクボス宣言企業 「福島県次世代育成支援企業」、「イクボス宣言企業」をワーク・ライフ・バランス推進のポータルサイトに掲載した。 □ 次世代育成支援認証企業(累計) 974事業所 イクボス宣言企業(累計) 570社	○ポータルサイトを速やかに更新するとともに内容を拡充して、次世代認証、イクボス宣言企業をPRする。	商工労働部 (雇用労政課)

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

1 女性の職業生活を支える社会づくりの推進											
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局								
	<p>○ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣</p> <p>□R3 5回、R4 4回</p>	<p>○ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣 引き続き、社会保険労務士を派遣し、福島県次世代認証の手続き方法や改正育児介護休業法の研修会など、企業の求めに応じて助言・指導を行う。</p>	<p>商工労働部 (雇用労政課)</p>								
	<p>○福島県働き方改革支援奨励金（働き方改革支援事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性育休 7日以上取得（10万円交付）交付 7件 ・男性育休 1か月以上取得（20万円交付）交付14件 ・年次有給休暇の取得（1社20万円交付）交付 1件 	<p>○（一部新規）福島県女性活躍・働き方改革支援奨励金 以下の内容に対する奨励金を新たに設け、さらに企業の取組を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍の推進（管理職増加、女性の積極採用等） ・男性育休3か月以上の取得 ・介護休業の取得 	<p>商工労働部 (雇用労政課)</p>								
	<p>○両立支援等助成金 従業員の仕事と家庭生活の両立支援や女性活躍推進に関する助成金について、毎月の定例報告会、労働局ホームページ及び各労働基準監督署・ハローワークにおいて周知を図り、助成金の活用促進を図った。</p> <p>□令和4年度の支給決定件数</p> <table border="0"> <tr> <td>(ア) 出生時両立支援（男性の育児休業取得）</td> <td>134件</td> </tr> <tr> <td>(イ) 介護離職防止支援</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>(ウ) 育児休業等支援</td> <td>137件</td> </tr> <tr> <td>(エ) 女性活躍加速化</td> <td>0件</td> </tr> </table>	(ア) 出生時両立支援（男性の育児休業取得）	134件	(イ) 介護離職防止支援	8件	(ウ) 育児休業等支援	137件	(エ) 女性活躍加速化	0件	<p>○毎月の定例報告会、労働局ホームページ及び各労働基準監督署・ハローワークにおいて制度の周知を図り、助成金の活用促進を図る。</p>	<p>福島労働局 (雇用環境・均等室)</p>
(ア) 出生時両立支援（男性の育児休業取得）	134件										
(イ) 介護離職防止支援	8件										
(ウ) 育児休業等支援	137件										
(エ) 女性活躍加速化	0件										

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

2 女性の職業生活における活躍の推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
(1) 女性の離職防止・就業継続支援			
	<p>○看護師勤務環境改善施設整備費補助事業 ナースステーションの拡張等に要する経費の一部を支援し、看護職員の勤務環境改善を図り、離職防止につなげた。 □R4 事業実施医療機関数（補助件数） 1件</p>	<p>○看護師勤務環境改善施設整備費補助事業 ナースステーションの拡張等に要する経費の一部を支援し、看護職員の勤務環境改善を図り、離職防止につなげる。</p>	保健福祉部 (医療人材対策室)
	<p>○福祉・介護人材定着促進事業 介護施設等における福祉・介護人材の職場での定着等を図るため、キャリアパス制度構築及び新人職員の早期職場定着のOJT(職場内研修)の導入を支援した。 (令和4年度受講者数) ①キャリアパス制度定着研修事業 106名 ②新人職員向けOJT研修(プリセプター研修)普及事業 146名 ③テーマ別研修 217名</p> <p>※キャリアパスとは企業や事業所の職員が、ある職位や役職に就くまでに辿る経歴(キャリア)や道筋(パス)のこと。社員はキャリアパスがあることによって自分の目指すべき道ややるべきことが明確になり、モチベーションを高めながら仕事をすることができる。</p>	<p>○福祉・介護人材定着促進事業 介護施設等における福祉・介護人材の職場での定着等を図るため、引き続き、キャリアパス制度構築及び新人職員の早期職場定着のOJT(職場内研修)の導入を支援する。 ①キャリアパス制度定着研修事業 ②新人職員向けOJT研修(プリセプター研修)普及事業 ③テーマ別研修</p>	保健福祉部 (社会福祉課)
	<p>○新入社員研修交流会 6地域×3回開催 参加者数 のべ293事業所 759人 ○巡回相談訪問 262人 ○相談窓口利用件数 63件</p>	<p>○同期入社の少ない中小企業の新入社員を対象に、交流会を開催し、地域同期の形成を図る。(6地域×4回開催予定) ○新入社員が抱える仕事上の悩みや不安を、専門的な知識を有する相談員に気軽にメールや電話等で相談し、アドバイスを受けることのできる相談窓口を引き続き設置する。</p>	商工労働部 (雇用労政課)
	<p>○両立支援等助成金(再掲) 従業員の仕事と家庭生活の両立支援や女性活躍推進に関する助成金について、毎月の定例報告会、労働局ホームページ及び各労働基準監督署・ハローワークにおいて周知を図り、助成金の活用促進を図った。 □令和4年度の支給決定件数 (ア)出生時両立支援(男性の育児休業取得) 134件 (イ)介護離職防止支援 8件 (ウ)育児休業等支援 137件 (エ)女性活躍加速化 0件</p>	<p>○毎月の定例報告会、労働局ホームページ及び各労働基準監督署・ハローワークにおいて制度の周知を図り、助成金の活用促進を図る。</p>	福島労働局 (雇用環境・均等室)
	<p>○就職支援ナビゲーター事業 在学生への職業相談や職業講話を実施することにより、就職の動機付けや職業・企業に対する理解の促進を図る。また、就職後には、事業主に対し職場環境の整備や調整等の助言を行うとともに、新入社員に対し新たな職場環境の適応方法や人間関係の構築方法について助言を行った。 □学校内職業講話件数(令和4年度の件数) 大学等 実施件数 33件、参加人数 90人 高校 実施件数 46件、参加人数 1,887人 □新入社員への定着支援件数(令和3年度の件数) 1,124件</p>	<p>○大学生や高校生を対象とした企業説明会等の開催により職業・企業理解を促進し、就職後のミスマッチ防止を進める。 また、若者の採用・育成に積極的で、雇用管理の状況が優良であると厚生労働大臣から認定された「ユースエール認定企業」の周知および拡大促進を図り、若者が安心して働き続けられる企業風土の促進を進める。</p>	福島労働局 (職業安定部) 職業安定課 若年者雇用対策係

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

2 女性の職業生活における活躍の推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
(2) 女性の就職支援			
<インターンシップ>			
	<p>○県内企業の採用力向上に向けたオンラインインターンシップの実施 □伴走支援15社実施</p>	○令和5年度から対象とする範囲を拡大し、取組を継続する。	商工労働部 (雇用労政課)
	<p>○インターンシップによるキャリア教育推進事業(高等学校における取組) 「インターンシップによる産業人材育成事業」により、各高校において、年間行事計画に基づき毎年6月からインターンシップを実施した。 □(令和3年度実績) 実施校:28校、1,869名、受入企業数:783社 (令和4年度実績) 実施校:31校、1,936名、受入企業数:863社</p> <p>○キャリア教育推進事業(義務教育課における取組) 現在の学びと将来を結びつけ、キャリア形成に関わる資質・能力を育んだ。 県内モデル校6校(小学校3校、中学校3校)の優れた実践を累積し、県内に普及した。 □ キャリア教育実践研究発表会 6地区開催(年1回)</p>	<p>○インターンシップによるキャリア教育推進事業(高等学校における取組) 「インターンシップによる産業人材育成事業」により、各高校において、年間行事計画に基づき毎年6月からインターンシップを実施する。</p> <p>○キャリア教育推進事業(義務教育課における取組) ・モデル校の指定を2年間とし、長期スパンで子どもの成長を見取るとともに、子どもの社会参画意識や人間関係形成の力を育む実践研究に取り組む。 ・ポータルサイト開設を行い、これまでの優れた「特別活動を要とした実践研究」の研究成果を普及・発信する。</p>	<p>教育庁 (教育総務課)</p> <p>※事業担当課は、義務教育課及び高校教育課</p>
<スキルアップ支援>			
	<p>○離職者等再就職訓練事業 ・離職者訓練において、求人ニーズや求職ニーズを踏まえ、事務系(パソコン、経理、医療事務)や介護系等、再就職に必要なスキルや資格を習得する訓練科を設定した。 ・子育て中の女性が受講しやすくなるよう、託児サービス付きの訓練コースを設定した。</p> <p>□R4実績 ・訓練実施コース 122コース ・受講者 1,379人(うち女性 1,026人) ・託児サービス付加コース設定数 36コース ・託児サービス利用者数 2コース 2名</p>	<p>□R5実績(5月末状況) ・訓練実施コース 39コース ・受講者 349人(うち女性 261人) ・託児サービス付加コース設定数 31コース ・託児サービス利用者数 利用実績なし</p>	商工労働部 (産業人材育成課)
	<p>○女性IT人材育成・就業応援事業 1 学習機会の提供 (1)eラーニング ・IT基礎・Webデザイン基礎コース:定員45人(応募者数88名) 受講期間3か月 ・プログラマ基礎コース:定員45人(応募者数56名) 受講期間7か月間 (2)スクーリング 延べ13日間実施した。 (3)その他 ・オンライン会議ツールに関する講座、Webデザインに関する講座、デジタル活用支援員講座、ICT支援員講座、テレワーク体験、会津大学教員を講師としたプログラミング演習に関する講座等の実施 ・受講生の受講・就労意欲向上のため、受講生同士が交流できるようにオンラインツールを利用して交流用スレッドを作成した。</p> <p>2 就業応援事業の実施 ・ジョブマッチングを2日間開催し、企業が22社、受講者30名が参加した。 ・テレワークによる就労体験を実施し、10名が参加した。 ・ふくしま生活就職応援センター会津若松事業所のコーディネーターを講師とし、キャリア形成に関する講演会を開催し、31名が参加した。 ・就労者数 50人(令和5年3月現在)</p>	<p>○女性IT人材育成・就業応援事業 1 学習機会の提供 (1)eラーニング ・IT基礎・Webデザイン基礎コース:募集定員45人、受講期間2023年8月～10月(3か月) ・プログラマ基礎コース:募集定員45人、受講期間2023年8月～2024年2月(7か月間) (2)スクーリング 8月(1日)、前期課程(4日)及び後期課程(4日)実施予定 (3)その他 オンライン会議ツールに関する講座、Webデザインに関する講座、デジタル活用支援員講座、ICT支援員講座、テレワーク体験等の実施</p> <p>2 就業応援事業の実施 本学との産学連携企業、ふくしま生活・就職応援センター等とのネットワークを活用し、2コースの受講生を対象にオンラインを活用したジョブマッチングを実施する。(11月、3月予定)</p>	<p>総務部 (私学・法人課)</p>

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

2 女性の職業生活における活躍の推進													
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局										
	<p>○「人生100年時代を生きる学びの推進」において、学び直しがしやすい環境づくりを推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村生涯学習講座受講者数(人口千人当たり) R3:294人,R4:441人 	<p>○課HPにおける情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民カレッジ講座、市町村主催講座(イベント)、高等教育機関及び民間教育団体等の講座(教室)等の情報提供 ○生涯学習情報システムの構築業務 ・R6運用開始予定 	文化スポーツ局 (生涯学習課)										
＜相談員等によるマッチング支援＞													
	<p>○進路アドバイザー事業 「ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業」 各地区の県立高等学校に34名の進路アドバイザーを配置した。</p>	<p>○進路アドバイザー事業 「ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業」 各地区の県立高等学校に34名の進路アドバイザーを配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の高校生の生活基盤安定への支援として、進路相談や適性診断などの生徒面談のほか、本県で働くことの意義、社会人として自立するための支援、将来本県で生活する際の不安を解消するための講話などを実施することにより、社会人として自立するためのサポートを継続していく。 ・県外に避難している新規高卒就職希望者に対する帰還支援として、就職を希望する地域の企業の求人情報等の提供を継続して行っていく。 	教育庁 (高校教育課)										
	<p>○福祉・介護人材確保マッチング支援事業 福祉人材センターにキャリア支援専門員を配置し、求職者及び施設事業所へのマッチング支援を行い、福祉介護人材の確保を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①出前相談事業 県内9か所のハローワークをそれぞれ月1回訪問し、就労支援セミナー・相談会を実施。 ②福祉の職場合同就職説明会 合同就職説明会をオンライン及び対面により、2会場で各2回開催。 ③求職者向けセミナー 求職者面接研修を対面により、2回実施。 	<p>○福祉・介護人材確保マッチング支援事業 引き続き、福祉人材センターにキャリア支援専門員を配置し、求職者及び施設事業所へのマッチング支援を行い、福祉介護人材の確保を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①出前相談事業 県内9か所のハローワークを訪問し、就労支援セミナー・相談会を開催する。 ②就職フェア・合同説明会 合同就職説明会をオンライン及び対面で開催。 ③求職者向けセミナー 求職者面接研修の開催。 	保健福祉部 (社会福祉課)										
	<p>○就職支援ナビゲーター事業 在学生への職業相談や職業講話を実施することにより、就職の動機付けや職業・企業に対する理解の促進を図る。また、就職後には、事業主に対し職場環境の整備や調整等の助言を行うとともに、新入社員に対し新たな職場環境の適応方法や人間関係の構築方法について助言を行った。</p> <p>□学校内職業講話件数(令和4年度の件数)</p> <table border="1"> <tr> <td>大学等</td> <td>実施件数</td> <td>33件</td> <td>参加人数</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>実施件数</td> <td>46件</td> <td>参加人数</td> <td>1,887人</td> </tr> </table> <p>□新入社員への定着支援件数(令和3年度の件数) 1,124件</p>	大学等	実施件数	33件	参加人数	90人	高校	実施件数	46件	参加人数	1,887人	<p>○大学生や高校生を対象とした企業説明会等の開催により職業・企業理解を促進し、就職後のミスマッチ防止を進める。</p> <p>また、若者の採用・育成に積極的で、雇用管理の状況が優良であると厚生労働大臣から認定された「ユースエール認定企業」の周知および拡大促進を図り、若者が安心して働き続けられる企業風土の促進を進める。</p>	福島労働局 (職業安定部) 職業安定課 若年者雇用対策係
大学等	実施件数	33件	参加人数	90人									
高校	実施件数	46件	参加人数	1,887人									
	<p>○福島広域雇用促進支援協議会 福島労働局からの委託により、主に被災12市町村の企業向け及び避難者(帰還者)である求職者向けに、就職相談など雇用支援のための各種事業を実施</p> <p>□ R4年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(求職者向け)就職相談 相談件数 3,869件 ・(求職者向け)就活ワークショップ 利用件数 5,241件 ・(企業向け)人材獲得セミナー 実施回数 11回 参加数 160社 ・職場体験実習 実施人数 延べ30人 ・就職面接会 実施回数 9回 参加数 182社 508人 	<p>○R5年度の計画(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(求職者向け)就職相談 相談件数 2,500件 ・(求職者向け)就活ワークショップ 利用件数 1,500件 ・(企業向け)人材獲得セミナー 実施回数 70回 参加数 105社 ・職場体験実習 実施人数 延べ30人 ・就職面接会 実施回数 10回 参加数 180社 465人 	商工労働部 (雇用労政課)										

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

2 女性の職業生活における活躍の推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
<就職支援窓口>			
	<p>○ふるさと福島就職情報センター ふるさと福島情報センター福島窓口にコーディネーターを配置し、下記により女性の再就職支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職相談、職業紹介、就職後のフォローアップまで一体的な支援 ・次世代育成支援認証企業等働きやすい職場環境づくりに理解のある企業への訪問、求人開拓 ・再就職支援セミナー、就職面談会、職場見学、職場実習等の開催 <p>□窓口利用件数 1,153件 就職決定者数 145名</p> <p>□再就職支援セミナー 5回開催 延べ39名参加</p> <p>□実践型セミナー 5回開催 延べ46名参加</p> <p>□オンラインお仕事説明会 企業のPR動画を専用HPに掲載 動画掲載企業20社 動画視聴回数352回</p> <p>□職場見学 7回開催 延べ7名参加 2名就職決定</p>	<p>○前年度までの取組を今年度も継続。</p> <p>□ 窓口利用件数 15,208件 (H29～R5年5月末時点) 就職決定者数 1,102名 (H29～R5年5月末時点)</p>	<p>商工労働部 (雇用労政課)</p>
	<p>○ふくしま生活・就職応援センター 県内6事務所のうち3事務所(郡山・会津若松・いわき)に、女性を始めとした多様な人材活躍支援を行うジョブコーディネーターを配置し、相談対応や企業見学等を実施した。</p> <p>□利用件数 487件 就職決定者数 34名</p>	<p>○引き続き、県内6か所に事務所を設置し、生活相談や就職相談、職業紹介等のきめ細かな支援を実施するとともに、うち3事務所(郡山・会津若松・いわき)に、ジョブコーディネーターを配置し、女性を始めとした多様な人材活躍支援として相談対応や企業見学等を実施。</p>	<p>商工労働部 (雇用労政課)</p>
	<p>○マザーズコーナーを設置するハローワーク(福島・いわき・会津若松・郡山)をはじめ、県内ハローワークにおいて、関係機関(地方自治体、福島県男女共生センター)と連携し、女性の再就職を促進するための総合的な支援を行った。</p> <p>□令和4年度の実績 新規求職者数 2,811人 (前年同期 3,035人) 就職者件数 936人 (前年同期 1,041人)</p>	<p>○マザーズコーナーを設置するハローワーク(福島・いわき・会津若松・郡山)をはじめ、県内ハローワークにおいて、関係機関(地方自治体、福島県男女共生センター)と連携し、女性の再就職を促進するための総合的な支援を引き続き行う。</p>	<p>福島労働局 (職業安定部) 職業安定課 職業紹介係</p>
	<p>○ハローワーク福島・いわき・会津若松・郡山に設置した「人材確保対策コーナー」において、以下のよう支援を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①就職支援ナビゲーター等による担当者制や予約相談による職業相談・職業紹介 ②応募書類(履歴書・職務経歴書等)の作成支援 ③面接の受け方などのアドバイス ④迅速な求人情報の提供 ⑤福島県福祉人材センターと連携し、「福祉の仕事就労支援セミナー&相談会」を開催 【令和4年度実績】 ・セミナー開催回数 : 108回 参加者数 : 729人 ・相談会開催回数 : 108回 参加者数 : 170人 ⑥福島県社会福祉協議会主催による「福祉の職場WEB説明会」「福祉の職場合同就職説明会」を開催(共催) 【令和4年度実績】 ・福島会場(7/6) : 参加者 52名 就職者5名 ・郡山会場(7/9) : 参加者 70名 就職者4名 ⑦「介護就職デイ」福祉関係就職面接会を開催 【令和4年度実績】 ・参加企業 : 117社 参加者数 : 353人 ・就職者数 : 48人 	<p>○ハローワーク福島・いわき・会津若松・郡山に設置されている「人材確保対策コーナー」において、専門職員によるきめ細かな職業相談を実施し、福島県福祉人材センター及び関係機関とネットワークを構築し、福祉関係等の情報を共有するとともに、求職者へ情報提供する。</p> <p>○引き続き、福島県福祉人材センターと連携し「福祉の仕事就労支援セミナー&相談会」の広報・案内及び求職者の就労支援を実施する。</p> <p>○福祉の職場合同就職説明会や「介護就職デイ」福祉関係就職面接会の開催について、互いに協力し実施する。</p>	<p>福島労働局 (職業安定部) 職業対策課 雇用指導係</p>

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

2 女性の職業生活における活躍の推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
(3) 希望に応じた多様な働き方の実現に向けた支援			
<多様な働き方の実現に向けた支援>			
	<p>○チャレンジ支援相談 女性の就業援助に関する相談、情報提供を行うとともに、内職希望者からの相談や内職求人受付、斡旋を行った。</p> <p>□相談件数 1,033件 内職あっせん者数 200名</p>	<p>○チャレンジ支援相談 今後も引き続き相談や斡旋を行う。</p>	生活環境部 (男女共生課)
	<p>○福島県次世代育成支援企業認証事業 働く女性応援41件 仕事と生活の調和39件</p> <p>○福島県ワークライフバランス大賞 3社を表彰</p> <p>○女性管理職・リーダー塾 5回連続講座×2クラス 計37名参加</p> <p>○女性活躍のためのWLB経営塾 3回連続講座 15名参加</p> <p>○イクボス出前講座10回開催</p>	<p>○福島県次世代認証やワーク・ライフ・バランス大賞、さらにはセミナーや出前講座等の各種の総合的な取組によりポジティブアクションの普及啓発を図っていく。</p>	商工労働部 (雇用労政課)
	<p>○福島県労働条件等実態調査の実施 県内民営事業所における労働条件等の実態を把握し、労働行政の基礎資料とするため、労働条件等実態調査を実施した。:</p> <p>□ R4 調査対象事業数:1,400件、(回収事業所数:801、有効回答:746)</p>	<p>○福島県労働条件等実態調査の実施 引き続き、県内民営事業所における労働条件等の実態を把握するため、労働条件等実態調査を実施。</p> <p>□ R5 調査対象事業数:1,400</p>	商工労働部 (雇用労政課)
<有期契約労働者等の正規雇用労働者への転換や処遇改善等>			
	<p>○キャリアアップ助成金 ハローワークの窓口や事業主支援アドバイザー等による事業所訪問、セミナー等で事業主に対し「キャリアアップ助成金」の周知・広報を行い、非正規労働者等の処遇改善を推進した。</p> <p>□令和4年度のキャリアアップ助成金支給決定件数状況 ・正社員化コース:239件(うち、有期雇用→正規雇用:180件)</p>	<p>○多様な働き方が進む中で、女性がニーズに合った雇用形態を選択し納得が得られる処遇を受けられるよう、非正規雇用労働者の正社員転換・処遇改善を推進していくことが重要なため、引き続きあらゆる機会を捉えてキャリアアップ助成金の周知強化を図っていく。</p>	福島労働局 (職業安定部) 職業対策課 雇用開発係
<起業・創業支援>			
	<p>○女性のチャレンジ応援講座 起業等に必要な知識やスキルなどを学ぶための講習や研修会等を実施した。</p> <p>□参加者 8名</p>	<p>○女性のチャレンジ応援講座 今後も引き続き講習や研修会等を実施する。</p>	生活環境部 (男女共生課)
	<p>○潜在的女性起業家発掘育成事業 起業アテンダントとして必要な知識、スキルを習得するための養成研修を実施した。また過年度の起業アテンダントに対してもフォローアップをしつつ、起業アテンダントが相談対応やセミナーの企画・運営を行った。</p> <p>□起業アテンダント養成研修 19名修了(R2) □起業アテンダント養成研修 18名修了(R3) □起業アテンダント養成研修 20名修了(R4)</p>	<p>○潜在的女性起業家発掘育成事業 女性が安心して起業できる環境作りの一貫として、引き続き、起業アテンダントの養成や、起業アテンダントによる各種企画を実施していく。また活動内容をSNS等を活用し、広く発信していく。</p>	商工労働部 (産業振興課)

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

2 女性の職業生活における活躍の推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
	<p>○女性が変える未来の農業推進事業 農業経営体等のスキルアップや地域活性化を図るため、女性リーダー育成研修会や女性農業者グループの事業活動の支援を実施した。</p> <p>□女性リーダー育成研修会 11月30日 15名参加 □女性リーダー育成研修会（機械） 12月22日 3名参加 □女性グループ活動支援事業 6団体：2,110,785円</p>	<p>○女性が変える未来の農業推進事業 農業経営等のスキルアップや地域のリーダーとなりうる女性農業者の確保を図るため、昨年に引き続き、リーダー育成研修会の実施する。 また、女性農業者グループに対し、6次化商品の開発や新たなメンバー確保など課題解決に向けた事業活動への支援を実施する。</p>	農林水産部 (農業担い手課)
(4)女性のキャリア意識の向上、職業能力開発の支援			
	<p>○技能向上訓練実施事業 職種に必要な専門知識や技術を付与する訓練を実施するとともに、資格取得を支援する訓練や、Web会議や動画作成などの社会ニーズに対応した訓練を実施した。</p> <p>□R4実績 ・実施コース 93コース (Auto CAD 基礎、QC基礎、第二種電気工事士受験対策、クレーム対応研修 等) ・受講者数 791名(うち女性141名)</p>	<p>□R5計画 ・実施コース 118コース (Auto CAD 基礎、QC基礎、第二種電気工事士受験対策、クレーム対応研修 等)</p>	商工労働部 (産業人材育成課)
	<p>○女性管理職・リーダー塾 女性一人一人が持てる力を発揮し、将来、企業において管理職・リーダーとして活躍する女性を養成するための連続講座を実施した。</p> <p>□ H30 5回コース×1 8月～12月 40名 H31 5回コース×1 8月～12月 48名 R2 5回コース×2 8月～12月 14名、16名 R3 5回コース×2 8月～12月 28名、25名 R4 5回コース×2 9月～1月 21名、16名</p>	<p>○女性管理職・リーダー塾 女性一人一人が持てる力を発揮し、将来、企業において管理職・リーダーとして活躍する女性を養成するための連続講座を引き続き実施する。またセミナー内で働き方改革モデルづくり事業を実施した企業の事例発表を行う。</p> <p>□R5 5回コース×2 9月～1月</p>	商工労働部 (雇用労政課)
	<p>○女性活躍のためのワーク・ライフ・バランス経営塾</p> <p>□ R2 2回コース、オンライン 15名参加(定員30名) R3 4回コース、オンライン 19名参加(定員30名) R4 3回コース、オンライン 15名参加(定員30名)</p>	<p>○女性活躍のためのワーク・ライフ・バランス経営塾 経営者の女性活躍の意識を醸成するとともに今後の経営に必要不可欠な働き方改革について理解を深める。セミナー内でWLB大賞を受賞した企業の事例発表を行う。</p> <p>□R5 3回コース オンライン 9月～11月</p> <p>○企業内担当者育成WLB女性活躍推進塾(新規) 企業の担当者を対象に、課題の発見、分析、各層への説明や説得、仕組みづくりなど、社内で女性活躍や働き方改革を進めるためのノウハウやスキルについて、実践的に学ぶセミナーを開催する。</p> <p>□R5 3回コース 9月～11月</p>	商工労働部 (雇用労政課)
	<p>○家族間によりよいパートナーシップを創りだし、農村における仕事と生活のバランスに配慮した働き方を推進することを目的として、家族経営協定の締結を推進するとともに、女性の積極的な経営参画のため、農業経営改善計画の共同申請を推進した。</p> <p><家族経営協定締結戸数> □H29：1,096戸、H30：1,123戸、R元：1,124、R2：1,155戸、R3：1,090戸 <女性認定農業者数> □H29：564人、H30：555人、R元：564人、R2：277人、R3：287人 ※R2から女性が役員となっている経営体は含まれていない。</p>	<p>○家族経営協定については、昨年に引き続き締結の促進と締結後の定期的な状況確認や現状に即した締結内容の見直し等のフォローアップを進める。 また、協定締結者については、農業経営改善計画の共同申請についての制度やメリット等を説明し、申請の誘導を図る。</p>	農林水産部 (農業担い手課)

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

2 女性の職業生活における活躍の推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
	<p>○人材開発支援助成金 労働者に専門的な知識及び技能を習得させ企業内の人材育成のために活用できる助成金。令和4年4月より「人への投資促進コース」、また令和4年12月より「事業展開等リスクリング支援コース」が新しいコースとして投入され、DXやグリーンカーボンニュートラルといったデジタル人材の育成に活用が進み始めている。女性が活躍しやすい分野でもあり、ハローワーク等を通じて周知・広報を図った。</p> <p>□ 令和4年度の人材開発支援助成金支給決定件数状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定訓練コース : 152件 ・ 教育訓練休暇付与コース : 1件 ・ 建設労働者認定訓練コース : 20件 ・ 建設労働者技能実習コース : 1367件 ・ 人への投資コース (R4. 4. 1~) ・ リスクリングコース (R4. 12. 2~) ・ 一般訓練コース : 47件 ・ 特別育成訓練コース : 8件 	<p>○令和5年4月から、従来からの3コースが一本化された「人材育成支援コース」となり、事業所にとっても利用しやすい形となった。また、令和4年4月から「人への投資促進コース」がスタートし、令和4年12月からは「事業展開等リスクリング支援コース」が新たに投入され、企業内のIT技術者の育成や学びなおし（リスクリング）を後押しする体制が整ってきている。</p> <p>eラーニングや定額制訓練（サブスクリプション）のように労働者の都合に合わせて受講できる訓練も助成対象となっているため、女性の職業能力開発の支援を進める上で効果的なメニューとなっている。引き続きハローワークの窓口や労働局主催のセミナー等を通して周知・広報を進めるとともに、積極的な活用促進を図ってきたい。</p>	<p>福島労働局 (職業安定部) 職業対策課 雇用開発係</p>

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

3 働きやすい職場環境づくり（ワーク・ライフ・バランス）の推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
(1) 仕事と家庭生活の両立に向けた企業の取組促進			
<専門家の派遣>			
	<p>○看護職ワーク・ライフ・バランス推進事業 看護職のワーク・ライフ・バランスの実現に取り組もうとしている医療機関に対して、好事例の共有や講義を行い、働き続けられる職場づくりを行うための知識の習得や労働環境改善へ向けた取組を促進した。 □R4 研修会1回開催（参加人数19名）</p>	<p>○看護職ワーク・ライフ・バランス推進事業 看護職のワーク・ライフ・バランスの実現に取り組もうとしている医療機関の取組促進のため、引き続き、本事業を継続していく。</p>	保健福祉部 (医療人材対策室)
	<p>○イクボス出前講座 出前講座によりイクボスの普及啓発を行い、ワーク・ライフ・バランスを自ら実践し働きやすい職場づくりを推進する経営者（イクボス）の増加を図った。 □R4 10社</p> <p>○働き方改革モデルづくり事業 企業に対し伴走型の働き方改革集中コンサルティングを実施し、働き方改革の深化推進を図った。 □R4 5社</p>	<p>○イクボス出前講座 引き続き、企業の意向に応じたオーダーメイド型の出前講座とし、イクボスのほか働き方改革等も含めた講座として、経営者等の意識変革を図る。</p> <p>○働き方改革モデルづくり事業 引き続き実施し、働き方改革の深化推進を図る。</p>	商工労働部 (雇用労政課)
	<p>○ライフデザインセミナーの開催 県内の大学、短期大学等に講師を派遣し、学識経験者による講義や、グループワーク等を通じて、出産・育児などのライフイベントと仕事との両立について学び、自分らしい「働き方、生き方」について賢い選択ができる能力を培うためのセミナーを開催した。 □開催校 5校（参加者 159名）</p> <p>○キラっ人さん活躍促進事業 企業や団体等の要望に応じたキラっ人さん（ロールモデル）を講師として派遣し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組を促進した。 □派遣回数 5回（参加者 156名）</p>	<p>○ライフデザインセミナーの開催 今後も引き続きセミナーを開催する。</p> <p>○キラっ人さん活躍促進事業 企業や団体等の要望に応じたキラっ人さん（ロールモデル）を講師として派遣し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組を促進する。</p>	生活環境部 (男女共生課)
	<p>○ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣 □R3 5回、R4 4回</p>	<p>○ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣 引き続き、社会保険労務士を派遣し、福島県次世代認証の手続き方法や改正育児介護休業法の研修会など、企業の求めに応じて助言・指導を行う。</p>	商工労働部 (雇用労政課)
<助成制度>			
	<p>○女性医師等就労環境改善事業 代替非常勤医師の雇用やベビーシッターの利用助成等を実施した医療機関を支援することにより、仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境の整備を促進した。 □R4 事業実施医療機関数（補助件数） 4件</p>	<p>○女性医師等就労環境改善事業 女性医師等が仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境の整備を促進するため、継続して事業を実施し、医療機関の取組を支援していく。</p>	保健福祉部 (医療人材対策室)

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

3 働きやすい職場環境づくり（ワーク・ライフ・バランス）の推進											
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局								
	<p>○福島県働き方改革支援奨励金（働き方改革支援事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性育休 7日以上取得（10万円交付）交付 7件 ・男性育休 1か月以上取得（20万円交付）交付14件 ・年次有給休暇の取得（1社20万円交付）交付 1件 	<p>○（一部新規）福島県女性活躍・働き方改革支援奨励金</p> <p>以下の内容に対する奨励金を新たに設け、さらに企業の取組を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍の推進（管理職増加、女性の積極採用等） ・男性育休3か月以上の取得 ・介護休業の取得 	<p>商工労働部 （雇用労政課）</p>								
	<p>○働きやすい職場環境づくり推進助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト事業：①働きやすい職場環境づくり事業に対する助成 交付6件 ②人材育成事業への助成 交付 1件 ・ハード事業：①社内の労働環境整備事業への助成 交付5件 	<p>○働きやすい職場環境づくり推進助成金</p> <p>令和4年度に引き続き、助成金事業を通して企業の取り組みを後押しする。また、チラシを作成してHP公表、企業に配布するなど事業のさらなる活用に向けた周知を行っている。</p>	<p>商工労働部 （雇用労政課）</p>								
	<p>○両立支援等助成金（再掲）</p> <p>従業員の仕事と家庭生活の両立支援や女性活躍推進に関する助成金について、毎月の定例報告会、労働局ホームページ及び各労働基準監督署・ハローワークにおいて周知を図り、助成金の活用促進を図った。</p> <p>□令和4年度の支給決定件数</p> <table border="0"> <tr> <td>（ア）出生時両立支援（男性の育児休業取得）</td> <td>134件</td> </tr> <tr> <td>（イ）介護離職防止支援</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>（ウ）育児休業等支援</td> <td>137件</td> </tr> <tr> <td>（エ）女性活躍加速化</td> <td>0件</td> </tr> </table>	（ア）出生時両立支援（男性の育児休業取得）	134件	（イ）介護離職防止支援	8件	（ウ）育児休業等支援	137件	（エ）女性活躍加速化	0件	<p>○毎月の定例報告会、労働局ホームページ及び各労働基準監督署・ハローワークにおいて制度の周知を図り、助成金の活用促進を図る。</p>	<p>福島労働局 （雇用環境・均等室）</p>
（ア）出生時両立支援（男性の育児休業取得）	134件										
（イ）介護離職防止支援	8件										
（ウ）育児休業等支援	137件										
（エ）女性活躍加速化	0件										
<企業認証制度>											
	<p>○福島県次世代育成支援企業認証制度</p> <p>次世代育成支援企業認証制度により、仕事と生活（育児・介護など）の調和のとれた働きやすい職場環境づくりや女性活躍に向けた企業の取組を促進した。また、認証企業を県HP、ポータルサイトでPRした。</p> <p>□ H30：595件、R1：677件、R2：765件、R3：875件、R4：947件（全て累計）</p>	<p>○福島県次世代育成支援企業認証制度</p> <p>引き続き、認証制度を要綱、認証基準に基づき適切に運用し、女性活躍や仕事と生活の調和に積極的に取り組む企業を認証し、社会的評価を高める。また認証企業を県HPや県ポータルサイトでPRする。</p>	<p>商工労働部 （雇用労政課）</p>								
	<p>○えるぼし認定、くるみん認定制度</p> <p>えるぼし認定、くるみん認定企業数については、以下のとおり。認定決定した場合には、認定通知書交付式を開催し、認定企業の取組等をホームページに掲載するなど認定制度を周知した。</p> <p>□認定企業数（令和5年3月31日現在）</p> <table border="0"> <tr> <td>「プラチナえるぼし認定」企業</td> <td>0社</td> </tr> <tr> <td>「えるぼし認定」企業</td> <td>13社（2段階目：2社、3段階目：11社）</td> </tr> <tr> <td>「プラチナくるみん認定」企業</td> <td>5社</td> </tr> <tr> <td>「くるみん認定」企業</td> <td>50社</td> </tr> </table>	「プラチナえるぼし認定」企業	0社	「えるぼし認定」企業	13社（2段階目：2社、3段階目：11社）	「プラチナくるみん認定」企業	5社	「くるみん認定」企業	50社	<p>○会議や説明会など様々な機会を利用して、認定制度の周知啓発に努めるとともに、女性の活躍推進に関する状況等が優良な企業に対しては「えるぼし認定」の取得に向けた支援を、仕事と子育ての両立支援を積極的に実施している企業に対しては「くるみん認定」の取得に向けた支援を実施する。</p>	<p>福島労働局 （雇用環境・均等室）</p>
「プラチナえるぼし認定」企業	0社										
「えるぼし認定」企業	13社（2段階目：2社、3段階目：11社）										
「プラチナくるみん認定」企業	5社										
「くるみん認定」企業	50社										
<関係団体との連携>											
	<p>○ふくしま女性活躍応援会議</p> <p>組織のトップや企業の人事労務担当者等を対象に女性活躍推進や働き方改革などをテーマとしたシンポジウムを開催した。</p> <p>□応援会議 1回開催</p> <p>幹事会 1回リモート開催</p> <p>シンポジウム参加者 240名</p>	<p>○ふくしま女性活躍応援会議</p> <p>今後も引き続きシンポジウムを開催する。</p>	<p>生活環境部 （男女共生課）</p>								

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

3 働きやすい職場環境づくり（ワーク・ライフ・バランス）の推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
	○次世代認証の評価項目や福島県ワーク・ライフ・バランス大賞の評価項目に「不妊治療をはじめとした治療と仕事の両立」を追加して、企業に対して啓発し取組を促した。	○次世代認証やWLB大賞に加えて奨励金制度にも不妊治療と仕事の両立の項目を設けて、さらに企業の取組を後押しする。	商工労働部 (雇用労政課)
	○「働き方改革」要請活動 福島労働局との企業訪問 6社	○「働き方改革」要請活動 福島労働局との企業訪問 7社予定	商工労働部 (雇用労政課)
	○働き方改革推進本部としての取組 ・魅力ある職場づくり推進協議会の各構成員による働き方改革の周知・広報・啓発 ・「働き方・休み方改善コンサルタント」による企業個別訪問、ワークショップを通じての各取組の提案 ・アドバイス、好事例の紹介等 □企業個別訪問数・・・令和4年度 6件 □ワークショップの開催・・・計3か所(福島、会津若松、郡山)参加者数 計15名 ・働き方改革に関する助成金の活用による労働時間短縮、年休取得促進 □働き方改革推進支援助成金支給決定件数・・・170件	○今年度も引き続き、魅力ある職場づくり推進協議会による働き方改革に関する周知・広報・啓発を積極的に実施するとともに、働き方・休み方改善コンサルタントによる企業個別訪問については、今年5月に新型コロナウイルス感染症の取扱いが2類から5類に引き下げられたことに伴い、訪問年間計画に従い従前どおりの企業訪問を実施する。また、ワークショップも規模(人数)を拡大して執り行うこととしている。 ○働き方改革推進支援助成金に、適用猶予業種等への上限規制の適用に対応するコース(適用猶予業種等対応コース)が新設されたことから、従前のコースを含め周知・広報を徹底し、更なる活用を促す。	福島労働局 (雇用環境・均等室)
(2) ハラスメントのない職場の実現			
	○福島県中小企業労働相談所の設置・運営 労働条件、勤労者福祉、雇用、労働環境などの労働問題に関する労働者及び使用者からの相談に迅速・的確に助言を行い、労使間紛争の未然防止を図った。 □R4 相談件数208件	○福島県中小企業労働相談所の設置・運営 労働条件、勤労者福祉、雇用、労働環境などの労働問題に関する労働者及び使用者からの相談に迅速・的確に助言を行い、労使間紛争の未然防止を図る。	商工労働部 (雇用労政課)
	○労働トラブルの未然防止や解決を図るため、就職前の大学生、高校生などを対象とした出前講座を実施し、受講者の基本的な労働の知識(ワークルール)の理解促進に努めた。 【ワークルール出前講座実施状況】 □R4 13回、512名	○紛争の未然防止につながるよう、今後もワークルール出前講座を実施するとともに、労使間での紛争を回避できるよう「労使トラブルQ&A」や「ワークルール」の解説による労働関係法令についてのホームページでの紹介、Twitterを活用した周知・啓発などに努めていく。	労働委員会 事務局
	○対面または電話・電子メールを活用した労働相談や、介護福祉職員や保育士等の研修の場を活用した現地相談会や、委員による相談会の開催等を通じて、労働に関する様々な問題の解消に努めた。 【労働相談件数】 □R4 集団 15件、個別 563件	○労働困りごと相談会については、労働相談の件数が多い業種の方を対象に、その方々の研修の場等を活用した現地相談会の開催に加え、労働委員の専門性をいかした事前予約制の相談会を開催することにより、相談体制の充実を図る。 ・労働相談窓口や労働困りごと相談会の周知など、県政広報枠を最大限に活用した広報や、インターネット・市町村広報誌・フリーペーパーへの掲載等様々な媒体での情報発信に努めていく。	労働委員会 事務局
	○令和4年度における個別労働紛争解決制度の施行状況は次のとおり。 1 総合労働相談件数 : 16,650件 うち民事上の個別労働紛争相談件数 5,152件 2 助言・指導申出件数 : 63件 3 あっせん申請件数 : 65件	○今後も労働局、労働基準監督署内に設置した、あらゆる労働問題に関する相談にワンストップで対応するための総合労働相談コーナーにおいて専門の相談員が対応していく。	福島労働局 (雇用環境・均等室)
(3) 子育て(保育)環境等の整備			
	○病院内保育所施設整備費補助事業 実績なし	○病院内保育所施設整備費補助事業 要望なしのため、R5年度は事業を実施しない。	保健福祉部 (医療人材対策室)

ふくしま女性活躍推進計画の取組状況

3 働きやすい職場環境づくり（ワーク・ライフ・バランス）の推進			
施策項目	令和4年度の実績等	令和5年度の取組等	担当部局
	<p>○病院内保育所運営費補助事業 病院内保育所の運営費の一部を支援し、看護職員の離職防止と未就業者の再就業促進を図った。 □R4年度 補助件数23施設</p>	<p>○病院内保育所運営費補助事業 引き続き、病院内保育所の運営費の一部を支援し、看護職員の離職防止と未就業者の再就業促進を図る。</p>	<p>保健福祉部 (医療人材対策室)</p>
	<p>○介護従事者の子育て支援のための施設内保育施設運営支援事業（運営に対する支援） 介護施設・事業所における保育施設等を運営するための必要な経費について、2法人に対し助成した。</p>	<p>○介護従事者の子育て支援のための施設内保育施設運営支援事業（運営に対する支援） 介護施設・事業所における保育施設等を運営するために必要な経費について助成する。</p>	<p>保健福祉部 (社会福祉課)</p>
	<p>○市町村の保育所等の整備、運営に対する支援 保育所、認定こども園、小規模保育施設等の整備もしくは整備に対し補助を行う市町村へ補助金を交付した。認可外保育施設に対しては健康診断費や運営費について補助を行う市町村に対して補助金を交付した。</p> <p>□R4実績 (1) 保育所等施設整備 ①教育・保育施設整備事業 保育所等整備事業 4市町4施設 ②認定こども園施設整備事業 ア 認定こども園施設整備事業 6市町7施設 イ 複合化・多機能化推進事業 1町1施設 (2) 認可外保育施設運営支援 6市町9施設</p>	<p>○市町村の保育所等の整備、運営に対する支援 引き続き、市町村に対し、整備費等を補助するとともに、保育士の確保を進め、保育の受け皿の確保に努める。</p>	<p>こども未来局 (子育て支援課)</p>
	<p>○市町村の地域子育て支援施策に対する支援 地域子ども・子育て支援事業を実施する市町村に交付金を交付した。</p> <p>□R4事業実施市町村 ①ファミリーサポートセンター：22市町村 ②地域子育て支援拠点事業：32市町村 ③病児保育事業：14市町村 ④一時預かり保育事業：39市町村</p>	<p>○市町村の地域子育て支援施策に対する支援 引き続き、地域子ども・子育て支援事業（13事業）を実施する市町村に交付金を交付する。</p>	<p>こども未来局 (子育て支援課)</p>
	<p>○放課後児童健全育成事業に対する支援 放課後児童健全育成事業を実施する市町村に対し運営費を補助するとともに、放課後児童クラブを創設する市町村にその整備費を補助した。</p> <p>□R4事業実施市町村 ①子ども・子育て支援交付金（運営費）：49市町村 ②子ども・子育て支援整備交付金（整備費）：3市町</p>	<p>○放課後児童健全育成事業に対する支援 引き続き、市町村に対し、放課後児童クラブの運営費や整備費を交付し、小学生の放課後の受入環境の整備推進を図っていく。</p>	<p>こども未来局 (子育て支援課)</p>
	<p>○企業内子育て支援施設の整備 安心して働き続けられる環境を実現することを目的として、企業が行う従業員のこどもを預かる保育施設等の整備を補助（県単）した。 □R4 企業内キッズスペース整備事業 交付 4件</p> <p>※R4から児童育成協会の保育所整備事業の募が停止となったため、県単補助のみとなっている。</p>	<p>○企業内子育て支援施設の整備 引き続き、安心して働き続けられる環境を実現することを目的として、企業が行う従業員のこどもを預かる保育施設等の整備を補助（県単）する。</p>	<p>商工労働部 (雇用労政課)</p>